

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度 総合	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	選択した系列(選択科目群)の授業に生徒の80%以上が満足している。	ガイダンスを十分に行うとともに、系列の授業を充実させる。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・系列選択に満足していると思っている生徒は95%であり、保護者の91%も同じように思っている。また、生徒の94%が、授業等でICT機器を活用する授業があると答えており、授業中の話し合いや発言の機会などに積極的に参加できていると思っている生徒は62%であった。このことから、ほとんどの生徒は自身の系列選択に満足しているが、第一希望の系列に所属できず、学習に対する意欲を低下させる生徒も一定数存在している。そのため、今までに以上に系列選択のガイダンスや模擬授業を充実させるとともに、担任と生徒、保護者、系列職員との情報共有を密に行っていきたい。また、コロナ禍後の授業におけるICT機器の効果的な活用について、研修などを通じ指導方法の工夫、確立を図っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会のデジタル化は絶えず進化をしている。DXやAIの活用方法などの指導を充実してほしい。
		ICT機器を用いた学習、協働学習・学び合い学習に生徒の80%以上が満足している。	ICT機器を用いた学習活動や、グループでコミュニケーション能力などを育む学習活動を取り入れ、生徒同士が共に関わり、学習を深め合う授業を展開する。その実現のため、授業改善を主眼とした職員研修を年2回行う。	B	A	A		
		総合的な探究の時間(総合研究)に、主体的に取り組んだと自己評価している生徒が80%以上である。	各系列で学んだことを深められるように研修などを通じて指導方法の工夫を行い、総合研究の内容を深化させる。	B	B	B		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	授業規律を常に意識しながら、生徒一人一人の状況に応じた授業運営を行っているとして自己評価している教員が80%以上である。	チャイムスタートなどの指導を全教員で徹底して行うとともに、授業規律違反指導を丁寧に行い、生徒の成長を促す。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の印象は真面目を持っている。若さを出せる教育活動を取り入れる必要がある。 ・本校の系列は多種多様であり、生徒の個性や進路選択を広げるために有効である。子どもたちは学校での居場所が見つけやすい。これからも続けてほしい。 	
		授業内容が理解できていると自己評価している生徒が80%以上である。	生徒の実態や個別の生徒に応じた課題設定を行い丁寧な授業展開を行う。	A	A	A		
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	1・2学期の不振科目の総数が前年度比5%減である。	実態に即した授業展開を工夫するとともに日々の授業を生徒が集中して取り組めるよう授業規律を保つ。	A	A	A		
		学習に対して達成感・満足感を感じている生徒が80%以上である。	協働学習を取り入れたり、教材の工夫を行い、学習に対する達成感や満足感の向上を図る。	B	B	B		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	職員会議や学年会議において生徒に関する情報交換を月3回程度実施する。	行事予定、月予定に会議日程を組み込み、会議を設定しやすくし、各学年の状況や課題を共有する。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導についての取り組みで全職員が理解し、粘り強く指導しているかのアンケート結果で「思う」者が41.2%、「やや思う」者が50%であり、今後より連携に努める。 ・学校生活や友人との悩みについて生徒アンケートで89%の者が「無い」と回答した。また、保護者アンケートにおいて学校生活、友人関係について家庭で話しているかで、「思う」、「やや思う」者が9割であった。今後、生徒の学校生活を観察し、生徒、保護者がより相談等しやすい環境作りに努める。 ・約95パーセントの生徒が遅刻をしない努力をし、遅刻をしない生活を送っている。睡眠時間については8時間以上確保できていると「思う」者が20%、「やや思う」者が40%であり、今後基本的生活習慣の確立に努めていきたい。 ・長期休業明けの欠席者が多く、「生活習慣の乱れ」や「課題ができていない」等の原因が考えられる。休業中も生活リズムが崩れないよう家庭と連携するとともに、欠席が多い生徒には教育相談係、スクールカウンセラーとともに早期対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の方法も時代の流れとともに変化している。生徒たちは元気に挨拶をしている。今後も継続して行ってほしい。登下校時のヘルメット着用は多くの生徒が着用している。今後も生徒の安全面を考え着用を指導していただきたい。
		5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	年3回の学校生活アンケートや面談においていじめの早期発見を目指す。	アンケートの検証で、小さないじめのサインを見逃さず、面談等を実施し、いじめ防止対策会議を開催する。	A	A		
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	1日の平均遅刻率が1%以下、平均欠席率を全校生徒の2%以下とする。	日常生活に応じた段階的指導から基本的生活習慣の身に付け、遅刻、欠席を防止に役立てる。	B	B	B		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	進路指導部から発信する進路情報に満足している生徒が80%以上である。	学校の様子を記載した進路便りを2ヶ月に1回程度発行する。また、進路の手引き(本編)を年度内に発行する。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・85%の職員が、学年や系列を単位とした進路行事が有効であると考えており、85%の生徒が、進路行事や進路指導は進路を考えるのに役立っていると考えている。このことから計画的な指導が、職員、生徒に受け入れられていると考える。今後も状況に合わせた対応と丁寧な指導を行いたい。 ・78%の生徒が自分の進路についてきちんと考えられていると答えている。さらに72%の保護者が学校からの進路に関する情報を把握していると回答している。このことから生徒自らが進路実現に向け、保護者との共通理解のもとで取り組んでいると考えられる。今後も進路通信をはじめとした情報提供に力を注ぎたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産業構造の変化にともない、どのような生徒を育てるのか、また就職後も離職せずに続けられるように生徒に寄り添った指導に期待している。卒業後も地元に残って活躍してもらいたい。
		8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	進路関係の行事を有効であると考えている生徒が80%以上である。	3年間を見据えた進路行事を計画・実施し、そのなかでキャリア・パスポート作成を通じて、生徒の見通しを持った活動と振り返りの活動に繋げていく。	A	A		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	学校からのメールや配布物、ホームページの閲覧等を通じて、保護者の80%以上が学校の様子を理解している。	印刷物による連絡だけでなく、メールによる学校情報を積極的に発信するとともに、学校WEBページを随時更新する。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・93%の保護者がメールやホームページを通して学校の様子を理解し、生徒の活動が地域貢献していることを知っている。また、本年度はWeb更新を頻繁に行い、特に1学年は学年行事の様子を積極的に公開した。来年度も保護者への様々な情報発信を各分掌で行い、また地域に根ざした活動を積極的に行っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安中ロケ弁スイーツ開発、田植え、植栽を通じて街づくりに貢献していると思う。 ・地域に根ざす安中の土地ならではのイベントや農業に関連していることが素晴らしい環境だと思う。 ・ロケ弁の開発、スイーツの開発を通じて、地元を知る機会としてほしい。
		生徒の活動が、地域に貢献していると、保護者の80%以上が答えている。	系列や部活動の特色を生かした活動を企画するとともに、地域行事に積極的に参加する。	A	A	A		
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	授業等でICT機器を活用していると実感している生徒が70%以上である。	ICT機器を活用し、教材や評価の工夫を行ったり、研修を通じて授業等における活用方法の実践、改善を行う。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の94%は授業でICT機器を活用する機会があると思っている。また、生徒・保護者等へのアンケートはすべてGoogleFormsに置き換えている。来年度も研修等を充実させ、授業における有効なICT機器の活用について実践していきたい。また、全職員に対してGoogleFormsでのセキュリティを意識した設定、実施について研修を行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒へ、現在のDX化の流れに乗れるような指導を、今後もして欲しい。
		11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	ICT機器を活用し、従来紙ベースで行っていたアンケート集計や各種調査の半数以上をGoogleFormsなどに置き換える。	職員研修を行い、全職員が活用できるようにする。	A	A		
※各学校で必要に応じて評価対象を加える。								